

妊娠高血圧症候群等医療費助成認定基準

分類	症状
1 妊娠高血圧症候群およびその関連疾患	<p>次のうち、アに掲げる重症基準を満たすもの又はイに掲げる重症基準に準ずる症状があるものであること。</p> <p>ア 重症基準 次の①、②のいずれかの基準を満たすもの。</p> <p>① 収縮期血圧が 160mmHg 以上又は拡張期血圧が 110mmHg 以上</p> <p>② 収縮期血圧が 140mmHg 以上又は拡張期血圧が 90mmHg 以上のもののうち、2g/日以上の蛋白尿を認めるもの。ただし、随時尿を用いる場合は、複数回の新鮮尿検査で連續して 3+(300mg/dl)以上であること。</p> <p>イ 重症基準に準ずる症状 次の①から③のいずれかの症状があるもの</p> <p>① 浮腫が全身に及ぶもの</p> <p>② 2g/日以上の蛋白尿を認めるもの。ただし、随時尿を用いる場合は、複数回の新鮮尿検査で連續して 3+(300mg/dl)以上であること。</p> <p>③ 収縮期血圧が 140mmHg 以上又は拡張期血圧が 90mmHg 以上のもののうち、300 mg/日以上の蛋白尿を認めるもの。ただし、随時尿を用いる場合は、複数回の新鮮尿検査で連續して+(20—50 mg/dl)以上であること。</p>
	(1) 妊娠高血圧症候群
	(2) 子癇
	(3) 妊娠高血圧症候群 関連疾患
2 糖尿病および妊娠糖尿病	<p>次に掲げるアからウのいずれかであること。</p> <p>ア 妊娠前から糖尿病と診断されたもの</p> <p>イ 妊娠糖尿病</p> <p>妊娠中、75g 経口ブドウ糖負荷試験において次の①から③のいずれかを満たすもの。ただし、ウと診断されたものは除く。</p> <p>① 空腹時血糖値 : 92 mg/dl 以上 ② 負荷後 1 時間値 : 180 mg/dl 以上</p> <p>③ 負荷後 2 時間値 : 153 mg/dl 以上</p> <p>ウ 妊娠時に診断された明らかな糖尿病 妊娠中、次の①から④のいずれかを満たすもの。</p> <p>① 空腹時血糖値 : 126 mg/dl 以上 ② HbA1c(NGSP)が 6.5% 以上であるもの</p> <p>③ 確実な糖尿病網膜症を認めるもの</p> <p>④ 隨時血糖値又は 75g 経口ブドウ糖負荷試験の 2 時間値が 200 mg/dl 以上であって、空腹時血糖又は HbA1c により確認されたもの</p>
3貧血	血色素量がおおむね 9g/dl 以下のもの
4産科出血	産科出血による多量の出血(1,000cc 以上の分娩時出血)で輸血その他の応急処置を必要とするもの
5心疾患	先天性又は後天性の心疾患を有し、心不全、肺水腫、心内膜炎、心房細動等の病態の悪化が認められるもの